

祝 辞 ～三原赤十字病院と三菱三原病院の統合に寄せて～



一般社団法人広島県医師会

会長 松村 誠

総合病院 三原赤十字病院と三菱三原病院が統合され、新たな病院としてスタートされましたことに心よりお慶びを申し上げます。

三原赤十字病院の上山聰院長をはじめとする皆様方には、日頃より、本会の会務諸事業の推進に格別のご支援ご協力を賜っておりますこと、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

このたびの統合は、三原市域において、人口減少や高齢化が進んでいく中、二次救急医療体制をはじめ、地域医療を安定的に確保するため、上山聰院長と三菱三原病院の寺面和史院長がリーダーシップを発揮され、関係者の皆様と真摯にご尽力された賜物であり、心から敬意を表します。

特に、消化器センターの新設による消化器内科と外科の連携強化、手術からリハビリまでのシームレス化を図った整形外科の充実、高齢者に対応した救急医療の拡充など、前向きな統合による医療の質の向上に向けた先駆的な取組が実現されておられます。さらにこの統合により、地域の各医療機関との連携・協力体制も深化し喜ばしい限りです。

医療を取り巻く環境は、新興感染症対策や医師の働き方改革などの諸課題、ICT技術の活用など、大きく変化しております。

総合病院 三原赤十字病院におかれましては、こうした変化に対応され、尾三医療圏域において、質の高い医療を提供される中核的な医療機関として、より一層の役割を担われるものと期待しております。

本会といたしましても、今後高齢化を迎える広島県の、特に尾三地域の医療を支えるため、三原市医師会とともに、官・学・民が一体となった「オール広島」で尽力して参りたいと考えております。

終わりにになりましたが、総合病院 三原赤十字病院の皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。このたびは誠におめでとうございます。